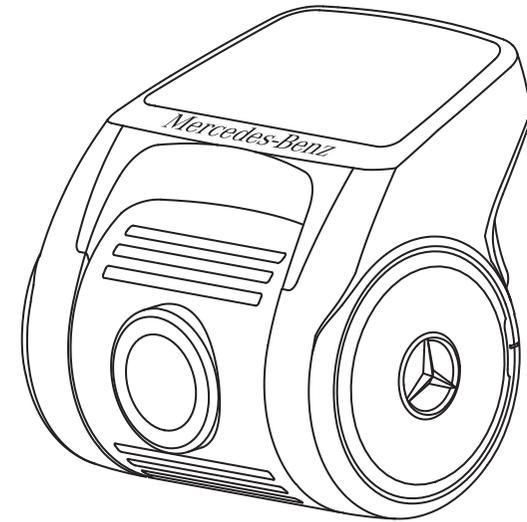


ドライブレコーダー

取扱説明書



商品に関するお問い合わせは、お求めいただいたメルセデス・ベンツ正規販売店までお願い致します。

〒140-0002
東京都品川区東品川四丁目12番4号
品川シーサイドパークタワー
メルセデス・ベンツ日本株式会社

部品番号	M 000 829 40 10 MM 16GB / 32GB / 64GB
	M 222 829 40 10 MM 16GB / 32GB / 64GB

2018/11/19

第2版

メルセデス・ベンツ純正ドライブレコーダーを ご購入いただき、ありがとうございます。

本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
特に、“安全上のご注意” (P.4～5) “使用上のご注意”
(P.5～13) はご使用前に必ずご一読ください。

また、取り付けは必ずメルセデス・ベンツ正規販売店で行って
ください。

本製品の仕様（外観・付属品・ビューワー画面等）は、改良
のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

CONTENTS

安全上のご注意	4
使用上のご注意	5
製品の特長	14
各部名称	15
microSDHCカード(MLCタイプ)の挿入、取り出し方法	17
録画方式	18
ステータスLED表示	20
録画時間	22
microSDHCカード(MLCタイプ)のファイル構成と タイムギャップ	23
microSDHCカード(MLCタイプ)内の構成	24
映像の再生	24
音声録音 / 音声案内	25
無線LAN	26
録画の停止	27
設定の初期化	27
microSDHCカード(MLCタイプ)のフォーマット	28
本体ソフトウェアのアップデート方法	30
異常時動作	31
アプリ	32
専用ビューワーでの動画の再生	42
その他のサポート情報	51
故障かな?と思ったら	52

安全上のご注意

- 安全に正しくご使用いただくため、ご使用前によくお読みください。
- お読みになった後はいつでも確認できる場所(グローブボックスなど)に必ず保管してください。

絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この絵表示の記載事項を守らないと、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。

⚠ 注意

この絵表示の記載事項を守らないと、人が障害を負ったり、物的損害が発生するおそれがあります。

⊘ この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

❗ この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

取り付け作業をはじめる前に

⚠ 警告

- 配線作業中は、バッテリーのマイナス側コードをはずす…
ショート事故による感電や、けがの原因となります。



結線の注意

⚠ 警告

- コード類は、取り付け説明の指示に従い、運転操作の妨げとならないようまとめておく…
ステアリング、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。
- 接続コード類の配線は高熱部を避けて行う…
コード類の被覆が溶けてショートし、事故や火災の原因となります。
- エアバッグシステム装着車に接続コード類の配線をする場合は、システムの作動に影響する場所に配線しない…
エアバッグが正常に作動しないと万一のとき、事故やけがの原因となります。



⚠ 注意

- 正規の接続をする…
誤った接続をすると、火災や事故・故障の原因となることがあります。また、ケーブルの改造をしないでください。
- 車体やネジ部分、シートレールなどの可動部に配線をはさみこまない…
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。



安全上のご注意

⚠ 警告

- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、システムの作動に影響する位置には絶対に取り付けない…
エアバッグが正常に作動しないと、万一のとき、事故やけがの原因となります。
- 本製品を次のような場所に取り付けない…
前方の視界を妨げる場所/シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所/同乗者に危険を及ぼす場所/エアバッグシステムの作動に影響する場所に取り付けると運転操作を妨げたり、はずれたりして、けがや交通事故の原因となります。
- 取り付けは付属の位置決めシートを使って、正しい位置に取り付けてください。



使用上のご注意

⚠ 警告

- 故障のまま使用しない…
故障した状態ではご使用にならず、必ずお買い上げの販売店もしくは弊社サービスにご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。
- 異常のまま使用しない…
万一煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちにご使用を中止して必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。
- ヒューズは規定容量のヒューズを使用する…
ヒューズを交換するときは必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズをご使用されると火災の原因となります。



⚠ 注意

- 他の無線機やテレビ・テレビチューナー・ラジオ・パソコン・GPSなどの近くで使用すると、影響を与えたり受けたりすることがあります。
- 本製品のケースを取り外さないでください。ケースを外すと内部の部品が破損することがあり、保証の対象外となります。
- 本製品で録画した映像はプライバシーや著作権の侵害など、法や条例に抵触しないように注意してご利用ください。
- 本製品は本来の使用目的以外ではご使用にならないでください。
- 本製品は日本仕様です。海外ではご使用にならないでください。
- 炎天下の駐車中は日射により本体が高温になります。注意してください。

使用上のご注意

電源が入ったままの状態でもicroSDHCカード(MLCタイプ)の抜き挿しを行うと、録画されたファイル又は、microSDHCカード(MLCタイプ)が壊れてしまうなど、ドライブレコーダーが正常に作動しなくなる場合がありますので、下記手順をお守りください。

microSDHCカード(MLCタイプ)の抜き挿し手順

<microSDHCカード(MLCタイプ)の抜き方>

1. エンジンを停止、またはACCをオフにし本体の電源が切れるのを待ちます。
2. ドライブレコーダーのLEDの消灯を確認します。
(電源を切り、約10秒)
3. ドライブレコーダーからmicroSDHCカード(MLCタイプ)を取り出します。
microSDHCカード(MLCタイプ)を軽く押し込み、少し飛び出してから引き抜きます。

<microSDHCカード(MLCタイプ)の挿し方>

本体の電源が切れている状態でmicroSDHCカード(MLCタイプ)を挿入します。
microSDHCカード(MLCタイプ)は向きに注意し、カチッと音がするまで挿入してください。

使用上のご注意



microSDカード (MLCタイプ) 使用上の注意事項

- 本機でお使いいただくmicroSDHCカード(MLCタイプ)は、本機専用としてお使いください。
- 本機で使用中のmicroSDHCカード(MLCタイプ)を他の用途で使用すると正常に動作、録画ができない場合があります。
- 他の機器で使用したmicroSDHCカード(MLCタイプ)を使用する場合は本機でフォーマットを行ってください。
- microSDHCカード(MLCタイプ)は分解、改造、その他加工はしないでください。
- microSDHCカード(MLCタイプ)を取り出す場合は本機の電源を切り、LEDが消灯してから取り出してください。
- 定期的にデータを読み出し、書き込みが正常かどうかご確認ください。
- 安心してお使いいただくため、1ヶ月に2回程度はmicroSDHCカード(MLCタイプ)のフォーマットを行ってください。(⇒P.28)
- microSDHCカード(MLCタイプ)のフォーマットを行うと、カード内のすべてのデータが消去されますので、大切なデータは予めパソコンや他の記録メディアなどにバックアップを作成してください。
- microSDHCカード(MLCタイプ)は消耗品です。定期的な交換をお勧めします。交換時期の目安はP.28を参照してください。
- 使用できるmicroSDカードは16～32GBまでのmicroSDHCカード(MLCタイプ)、64GBのmicroSDXCカード(MLCタイプ専用品)です。スピードクラスはCLASS 10、またはUHS-I対応品です。microSDカード、専用品以外のmicroSDXCカードには対応していません。

使用上のご注意

保証範囲

- ・本製品は事故などで衝撃のあった時点で録画するイベントレコーダーではありません。
- ・ドライブレコーダーは、すべての状況において映像を録画することを保証するものではありません。録画ファイルの間にはタイムギャップ(無録画時間)が存在します。
- ・録画された映像は事故を起こした場合の示談交渉や法的手続きにおいて参考録画としてご利用いただけますが、直接的証拠として保証されるものではありません。
- ・本製品は安全運転補助装置であり、故障による損害、データ損失による損害、その他の本製品を使うことにより発生する損害に対して弊社は責を負いません。
- ・本製品は車の状態や車両事故などで製品が破損したり、micro SDHCカード(MLCタイプ)の問題で録画ができない場合もあり、それらにより生じる損害に対して弊社は責を負いません。
- ・車両運行前に製品の動作状態をご確認ください。

次の場合は故障ではありません

- ・LEDの信号機やテール/ストップ/ウインカーランプは録画した画像で点滅したように映ることがあります。
- ・作動中に再起動し、「常時録画を開始します」のアナウンスがあることがあります。
- ・Gセンサーは衝撃の方向によって検知が異なるため衝撃検知録画ファイルが生成されない場合があります。

使用上のご注意

製品を誤って扱った場合、重傷や死亡に至る危険な状況に繋がることがありますので、お取り扱いには充分ご注意ください。

ドライブレコーダーを分解、改造しないでください

- ・感電や火災など車両破損及びデータ損失の原因となります。
- ・製品の点検、修理はお買い上げの販売店へお申し付けください。

運転中にドライブレコーダーの操作を行わないでください

- ・操作が必要な場合は、安全なところに駐車してから行ってください。

ドライブレコーダーを高温及び低温に長時間放置しないでください

- ・一定以上の高温下、低温下では異常な動作をする場合があります。
- ・結露のない状態でご使用ください。

ドライブレコーダーのレンズは常に清潔な状態でお使いください

- ・レンズが汚れますと画質が低下します。
- ・お手入れは、レンズクロスなどで拭いてください。

自動車のフロントガラスにコーティング処理がされている場合は録画品質に影響が出る可能性があります

ドライブレコーダーを長時間使用する場合、通風を良くしてください

- ・本体の温度が上昇し、変形や故障の原因になることがあります。

本製品のご使用により受信状態の悪い(微弱電波)ラジオ放送では、雑音が入る場合があります。

取り付け位置によってはバイザーを使用する際本体に接触し、カメラの向きが変わる可能性がありますので、ゆっくり下げてください。

本体の清掃、お手入れの際には、水、ワックスその他洗剤を本体にかけないでください。

- ・故障や感電を引き起こす可能性があります。

ケーブルは動かないよう固定し、コネクタにしっかり挿入してください。ケーブルが傷んだ場合は使用を止め、修理を依頼してください。

使用上のご注意



GPS信号受信についての注意事項

- GPS衛星は米国政府によって運用されている測位システムです。
- 初めてご使用になるときや長い間電源を入れていなかったときなど、内部の二次電池が充電されていない場合、GPS衛星から信号を受信し、位置を測位するまで20分以上かかる場合があります。また、この場合、日時が正確でないファイルが作成されることがあります。GPS衛星から信号を受信し、日時が補正されると次のファイルからは正確な日時で作成されます。
- GPS衛星からの信号を受信できない場所(トンネルや地下、ビル等に囲まれた場所など)では、位置情報が記録されません。
- 受信環境によって位置の測位に時間がかかる場合や、位置情報にズレが生じることがあります。
- 熱線反射タイプ、または熱線吸収タイプのフロントガラスには電波を通さないものがあり、GPS衛星から信号を受信できない場合があります。フロントガラスの種類、電波透過性の詳細についてはメルセデス・ベンツ正規販売店までお問い合わせください。

使用上のご注意

無線LANについて

- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています。(証明を受けた部品を使用しています)したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。また、本機は電気通信事業法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・ 分解/改造すること。
 - ・ 本機に貼付されている認証表示(適合マーク及び認証番号)をはがすこと。
- 本機は2.4GHz帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上の注意事項

本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止してください。

使用上のご注意

無線LANについて(つづき)

- 鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんで本機とスマートフォンを接続すると電波を遮ってしまい、映像や音声途切れたり、接続できなくなる場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
 - ・ 2.4GHzの周波数帯域を利用する無線LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して映像や音が途切れることがあります。
 - ・ ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CSチューナー、VICSなどのアンテナ入力端子を持つAV機器の近く。映像や音声にノイズがのることがあります。
- 無線LANは電波を利用して情報のやりとりを行うため、第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。情報を受信されたくない場合はこの機能を使用しないでください。無線LANをご使用になる場合は、本機のSSID・パスワードの設定を変更してからお使いいただくことを推奨します。本機能を使用したことでセキュリティ上の問題、損害が発生した場合、弊社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。

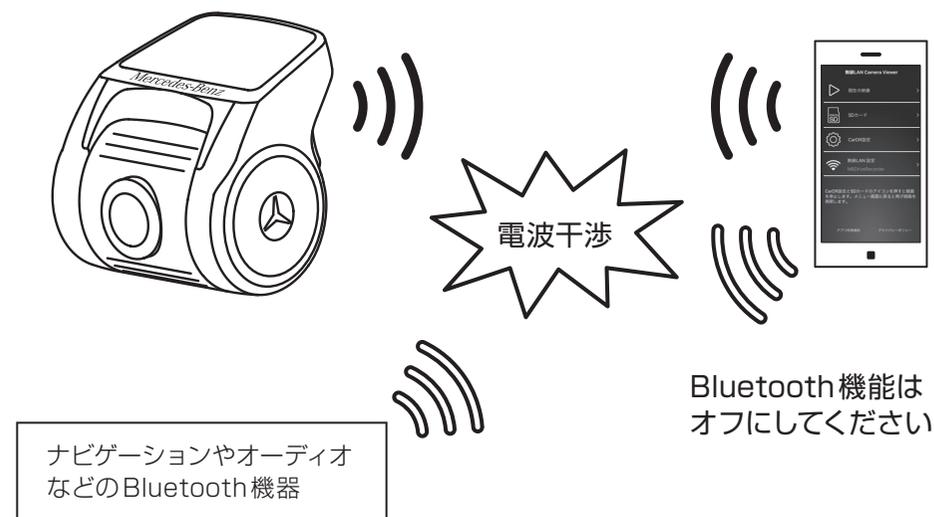
使用上のご注意

Bluetooth機器との電波干渉について

ドライブレコーダーの無線LAN機能とBluetooth機器は同じ周波数帯(2.4GHz)を使用するため、同時に使用すると電波干渉が発生し、通信障害や接続不能の原因になる場合があります。

スマートフォンのアプリ上でドライブレコーダーの録画映像を確認するとき(⇒P.34)、同時にBluetooth機能を使用していると電波干渉により映像や音声途切れたり再生できないことがあります。

ドライブレコーダーの無線LAN機能を使用する場合はスマートフォンのBluetooth機能をオフにしてください。



製品の特長

コンパクトサイズ

GPSアンテナ内蔵の小型サイズで、視界を妨げません。

高解像度カメラ

408万画素イメージセンサーを搭載。フルハイビジョンを超える解像度(最大 WQHD 2560×1440)で録画します。

WDR(ワイドダイナミックレンジ)

明暗差が激しい映像でも白飛び、黒潰れを低減します。

録画モード

常時録画

自動的に起動し、映像をNormalフォルダーに保存。

手動録画

任意で映像を記録し、Manualフォルダーに保存。

衝撃検知録画

内蔵Gセンサーが衝撃を検知すると、映像をEMERフォルダーに保存。

音声案内機能

動作状態を音声でお知らせします。

フォーマット時期案内

microSDHCカード(MLCタイプ)のフォーマット時期をお知らせします。
フォーマットせずに使用し続けた場合の録画エラーを未然に防ぎます。

交換時期案内

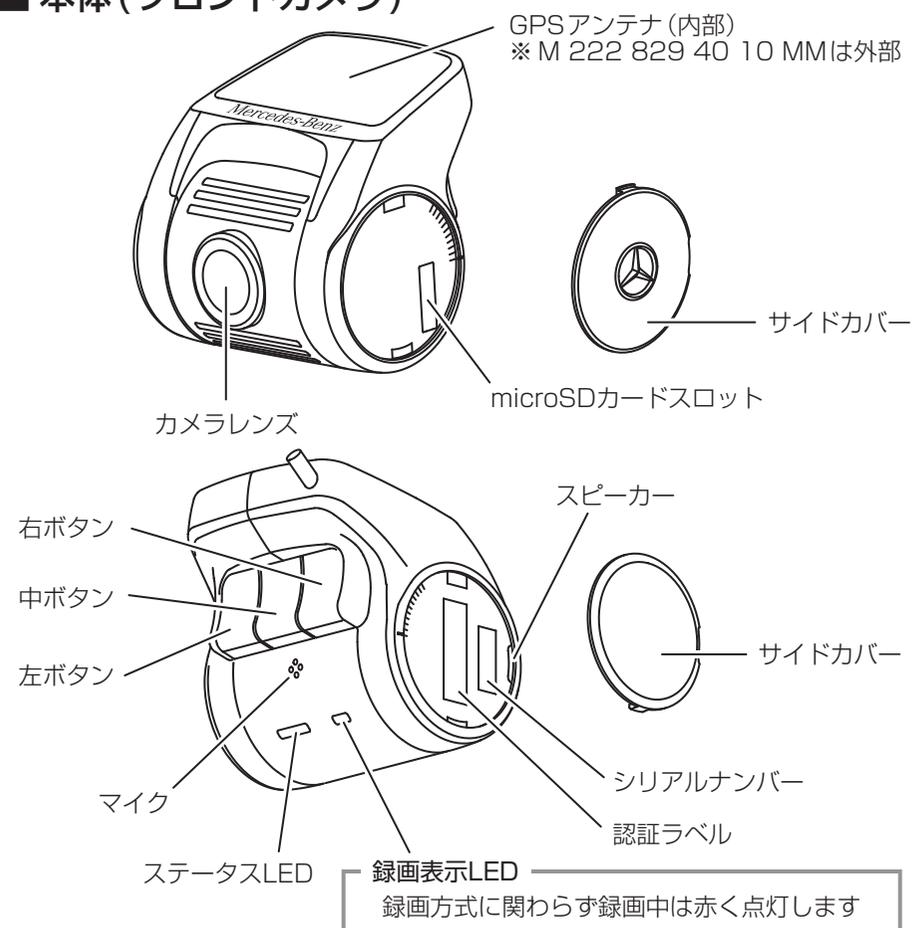
microSDHCカード(MLCタイプ)の交換時期をお知らせします。
寿命による録画エラーを未然に防ぎます。

スマートフォン対応

アプリをインストールすることでスマートフォンと無線LAN接続ができます。現在の映像確認やファイル管理、各種設定が行えます。

各部名称

■ 本体(フロントカメラ)

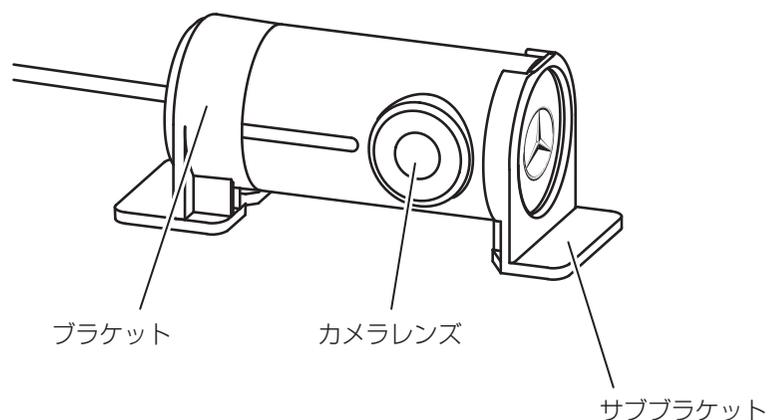


ボタン機能

	短押し	長押し
左ボタン	手動録画(⇒P.19) ※ microSDHCカード(MLCタイプ) 未挿入時 ⇨ 未挿入音声の停止	microSDHCカード(MLCタイプ) フォーマット(⇒P.28)
中ボタン	音声録音 オン/オフ (⇒P.25)	音声案内 オン/オフ (⇒P.25)
右ボタン	無線LAN オン/オフ (⇒P.26)	

各部名称

■ リアカメラ (別売品 2019年度発売予定) M 000 829 40 20 MM



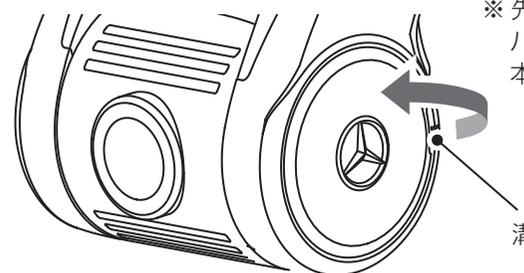
※ リアカメラ単体では使用できません。
M 000 829 40 10 MM 16GB/32GB/64GB、または
M 222 829 40 10 MM 16GB/32GB/64GBと接続して使用
します。

microSDHCカード(MLCタイプ)の挿入、取り出し方法

microSDHCカード(MLCタイプ)の抜き差しを行う場合は、必ず本機の電源をオフにし、LEDが消灯していることを確認してから行ってください。microSDHCカード(MLCタイプ)の抜き差しはサイドカバーを取り外して行います。

● サイドカバーの取り外し方

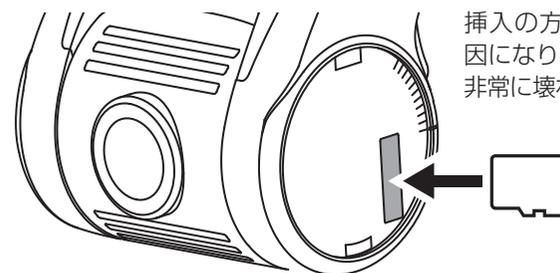
溝を利用しサイドカバーを取り外します。



※ 先の尖った工具などでサイドカバーを取り外さないでください。本機に傷が付く恐れがあります。

● microSDHCカード(MLCタイプ)の挿入

microSDHCカード(MLCタイプ)は下図の向きで、カチッと音がするまで挿入します。



※ microSDHCカード(MLCタイプ)は挿入の方向を誤ると破損や故障の原因になります。非常に壊れやすいのでご注意ください。

● microSDHCカード(MLCタイプ)の取り出し

microSDHCカード(MLCタイプ)を取り出すときは、軽く押し込み、少し飛び出してから丁寧に引き抜きます。

※ 無理な力で行うと破損の原因になります。

※ 取り出してすぐは熱いことがあります。ご注意ください。

microSDHCカード(MLCタイプ)の挿入、取り外し時は落下、紛失にご注意ください。

また常にmicroSDHCカード(MLCタイプ)をケースに入れて持ち運びください。

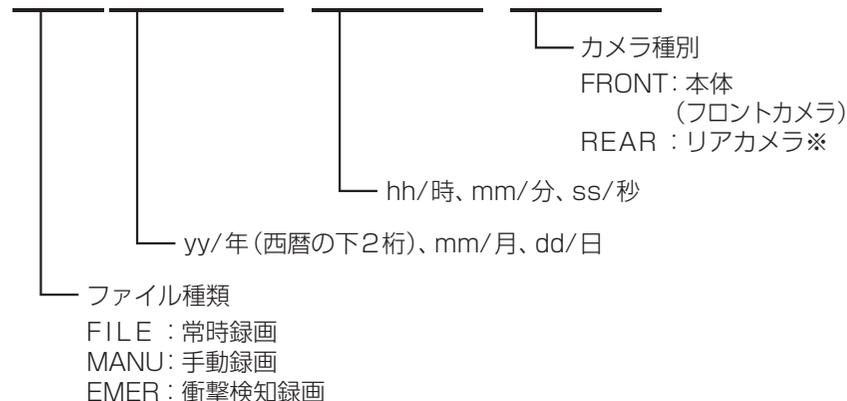
録画方式

録画方式は常時録画、手動録画、衝撃検知録画があります。

■ ファイル名について

ファイル種類+録画した年月日、時分秒+カメラ種別の組み合わせで作成します。

FILEyymmdd_hhmmss_FRONT.MP4



※ リア映像の録画には別売のリアカメラが必要です。

1. 常時録画

本機は、お車のエンジンを始動、またはACCがオンし、電源が入ると約10秒後に自動的に常時録画を開始します。1つの録画ファイルは約60秒で作成されます。常時録画中はステータスLEDが青点灯します。(GPS信号が受信できない場合は青/赤の交互点滅)



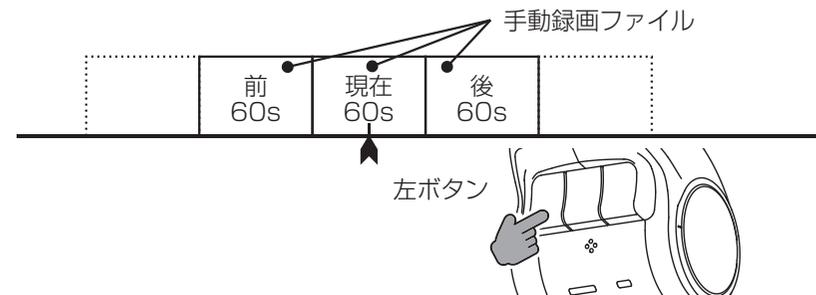
保存フォルダ: Normal
ファイル名: FILEyymmdd_hhmmss_FRONT.MP4

録画方式

2. 手動録画

常時録画中に左ボタンを押すと、手動録画ファイルを作成します。ボタンを押した時点のファイルと、その前後1ファイルずつ(合計3ファイル)を手動録画として保存します。手動録画中はステータスLEDが紫点灯します。手動録画ファイルを作成後、常時録画に戻ります。

- ※ 手動録画中はボタン操作はできません。
- ※ 手動録画中にGセンサーが衝撃を検知すると衝撃検知録画を行います。

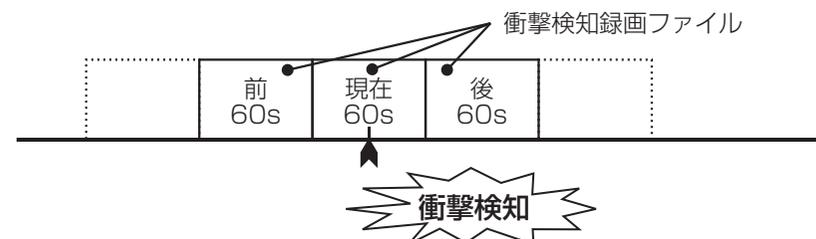


保存フォルダ: Manual
ファイル名: MANUyymmdd_hhmmss_FRONT.MP4

3. 衝撃検知録画

常時録画中、または手動録画中にGセンサーが衝撃を検知すると衝撃検知録画ファイルを作成します。検知した時点のファイルと、その前後1ファイルずつ(合計3ファイル)を衝撃検知録画として保存します。衝撃検知録画中はステータスLEDが紫点灯します。衝撃検知録画ファイルを作成後、常時録画に戻ります。

- ※ 衝撃検知録画中はボタン操作はできません。
- ※ 衝撃検知録画開始時に「ピッ」と鳴ります。(音声案内はありません)



保存フォルダ: EMER
ファイル名: EMERyymmdd_hhmmss_FRONT.MP4

ステータス LED 動作

録画動作

○点灯 ○点滅

状態 (操作)	ステータス LED	説明
常時録画時	○ (青)	“常時録画を開始します” Normalフォルダ内にファイル名の先頭が「FILE」と追記された映像が保存されます。(⇒P.18)
手動録画時	○ (紫)	“手動録画を開始します” 常時録画中、手動録画操作を行うとManualフォルダ内にファイル名の先頭が「MANU」と追記された映像が保存されます。手動録画ファイルを作成後、常時録画に戻ります。(⇒P.19)
衝撃検知録画時	○ (紫)	常時録画中、または手動録画中にGセンサーが衝撃を検知するとEMERフォルダ内にファイル名の先頭が「EMER」と追記された映像が保存されます。衝撃検知録画ファイルを作成後、常時録画に戻ります。(⇒P.19)

※ 録画ファイル構成 (⇒P.24)

基本動作

状態	ステータス LED	説明
電源オン時	○ (青)	常時録画を開始するまでの状態です。
microSDHCカード (MLCタイプ) なし	○ (赤)	“microSDカードがありません。microSDカードを挿入してください” microSDHCカード (MLCタイプ) の未挿入、またはエラーです。
microSDHCカード (MLCタイプ) 異常取り出し時	○ (赤)	“microSDカードが取り外されました” 録画中にmicroSDHCカード (MLCタイプ) が外され、エラー状態です。

ステータス LED 動作

基本動作(つづき)

○点灯 ○点滅

状態	ステータス LED	説明
エラー発生時	○ (赤)	microSDHCカード (MLCタイプ) または本体エラーによる動作異常です。一旦電源を切り、本製品でmicroSDHCカード (MLCタイプ) をフォーマット後、録画が正常に行われるか確認してください。正常動作しない場合は、弊社サービスまでご連絡ください。
フォーマット	○ (紫)	“microSDカードをフォーマットします”

その他の状態

状態	ステータス LED	説明
無線LAN オン	○ (青) / ○ (紫) 交互点滅	“無線LANをオンにします” 無線LAN機能がオンの状態です。 GPS信号未受信時に無線LANをオンにした場合、青/紫の交互点滅となります。
GPS信号未受信時	○ (青) / ○ (赤) 交互点滅	GPS衛星からの信号が受信できないとき、LEDが青/赤の交互点滅をします。この状態の場合は正確な時刻や位置情報が記録されません。

※ 手動録画時、衝撃検知録画時は紫色に点灯します。

※ GPS信号受信についての注意事項 (⇒P.10)

アップデート

※ アップデート方法 (⇒P.30)

状態	ステータス LED	説明
アップデート時	○ (青) ↓ ○ (赤)	“アップデートを開始します。終了するまで電源を切らないでください”
		“アップデートが終了しました” アップデートが完了すると再起動します。

録画時間

録画可能容量について

- microSDHCカード(MLCタイプ)に録画できる容量は録画方式によってそれぞれの容量が決められています。
- microSDHCカード(MLCタイプ)の約65%が常時録画、約15%が手動録画、約20%が衝撃検知録画の容量となります。

microSDHCカード(MLCタイプ)容量

録画可能容量		
常時録画 約65%	手動録画 約15%	衝撃検知録画 約20%

microSDHC/SDXCカード(MLCタイプ) 容量別録画時間

	フレームレート	ファイル容量	16GB	32GB	64GB
本体カメラのみ	7fps	約32MB	約8.0時間	約15.8時間	約31.6時間
	16fps	約48MB	約5.3時間	約10.5時間	約21.1時間
	22fps	約64MB	約4.0時間	約7.9時間	約15.8時間
	27.5fps	約80MB	約3.2時間	約6.3時間	約12.6時間
本体カメラ + リアカメラ	7fps	約32+32MB	約4.0時間	約7.9時間	約15.8時間
	16fps	約48+32MB	約3.2時間	約6.3時間	約12.6時間
	22fps	約64+32MB	約2.6時間	約5.2時間	約10.5時間
	27.5fps	約80+32MB	約2.3時間	約4.5時間	約9.0時間

※ 上記の録画時間は本体カメラ解像度 WQHD (2560×1440) です。また、常時録画、手動録画、衝撃検知録画の合計値です。

※ 録画時間は映像の状況、録画環境によって変動しますので参考値となります。

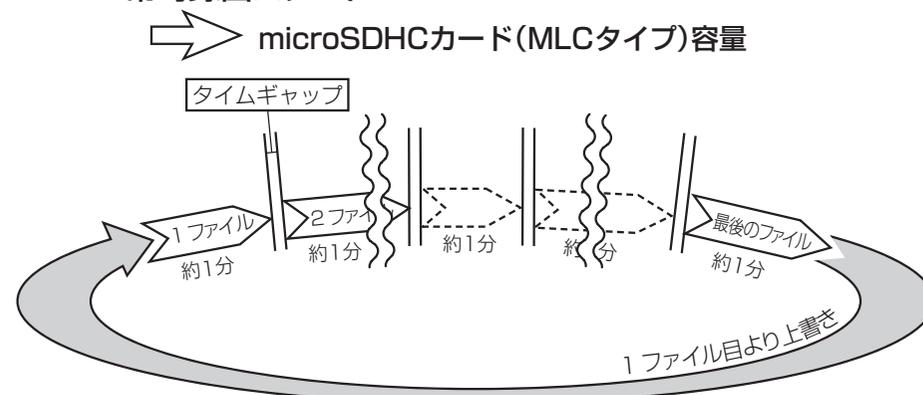
※ リアカメラは解像度 HD (1280×720)、フレームレート 30fps です。変更できません。

microSDHCカード(MLCタイプ)のファイル構成とタイムギャップ

ファイル構成

常時録画中は、約1分毎に録画ファイルが作成されます。microSDHCカード(MLCタイプ)の常時録画容量がいっぱいになった場合は、古いファイルから順次上書きされます。

常時録画スタート



※ 録画時間が1分に満たない状態で電源を切った場合には、その時点で新しいファイルが作成されます。

※ 常時録画中に手動録画及び衝撃検知があった場合にはファイル名が変更されます。

※ 手動録画、衝撃検知録画はmicroSDHCカード(MLCタイプ)の各録画容量まで保存され、それ以降は順次古いファイルから上書きされます。

※ 大切なファイルは上書きされないよう、バックアップを作成してください。

タイムギャップ

タイムギャップ(ファイル間の無録画時間)は理論上約0.1秒あります。

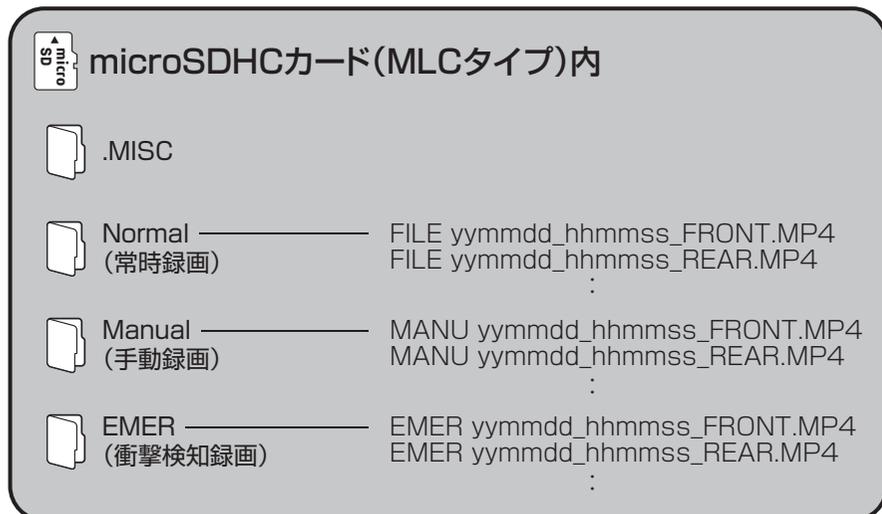
ファイルの録画完了から新しいファイルに録画を開始するまでにタイムギャップが発生します。タイムギャップ時のタイミングで衝撃が発生した場合、録画はできません。

※ データ保存のためには電源を切り、LEDが消灯してからmicroSDHC(MLCタイプ)カードを抜き取ってください。

※ 実際のタイムギャップは約0.1秒より短くなる場合があります。

microSDHC カード (MLC タイプ) 内の構成

■ 録画ファイル構成



※ .MISCフォルダには位置情報、Gセンサー情報が保存されています。フォルダ名の変更、削除やフォルダ内のファイルの変更、削除をしないでください。

映像の再生

■ 専用ビューワーで再生

専用ビューワーでの再生方法はP.42を参照ください。

■ 一般の動画再生ソフトで再生

1. 本機の電源をオフにした後、ドライブレコーダーのLEDが消灯したのを確認し(約10秒)microSDHCカード(MLCタイプ)を取り出します。
2. SDカードアダプターにmicroSDHCカード(MLCタイプ)を挿入し、リーダー・ライター*をパソコンに接続します。
3. MP4ファイルに対応した動画再生ソフトを起動し、ファイルメニュー、ドラッグ&ドロップなどでファイルを開きます。

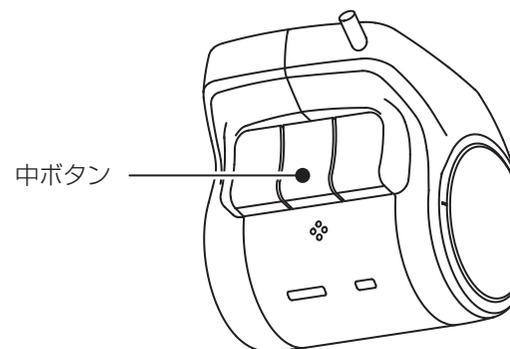
※ 使用方法については、リーダー・ライターの取扱説明書をご確認ください。

音声録音 / 音声案内

■ 音声録音

録画ファイルに音声を録音するか選択できます。
中ボタンを短押しすると、音声録音のオン・オフが切り替わります。

音声録音のオン：「音声録音を開始します」の音声が流れます。
音声録音のオフ：「音声録音を終了します」の音声が流れます。



■ 音声案内

動作状況を音声で案内するか選択できます。
中ボタンを長押しすると、音声案内のオン・オフが切り替わります。

音声案内のオン：「音声案内を開始します」の音声が流れます。
音声案内のオフ：「音声案内を終了します」の音声が流れます。

※ 音声案内がオンのとき、microSDカード(MLCタイプ)未挿入の案内「microSDカードがありません…」は、左ボタンの短押しで消すことができます。

無線 LAN

無線LAN機能をオンにし、アプリを使用することで本機とスマートフォンを接続することができます。

※ スマートフォンにアプリをインストールする必要があります。
(⇒P.32)

右ボタンを短押しすると、無線LAN機能のオン・オフが切り替わります。無線LAN機能がオンのときはLEDが青点滅します。

(GPS信号未受信時は青/紫の交互点滅)

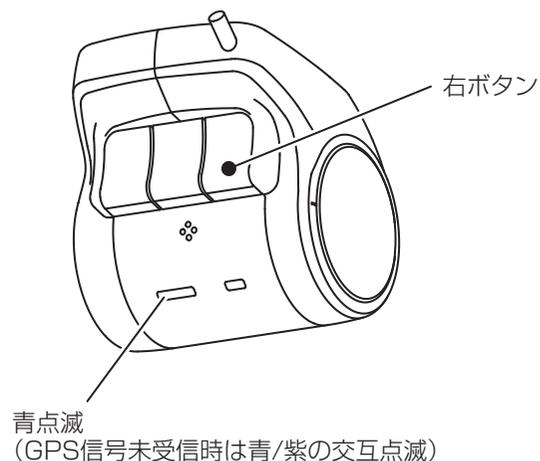
※ 無線LANオン中にエンジンを停止(電源オフ)した場合、次回エンジン始動時(電源オン)は無線LANはオフになります。

※ スマートフォンと接続しないときは無線LAN機能を必ずオフにしてください。

スマートフォンの設定によっては本機と自動的に接続される場合があります、ほかのネットワークと接続できなくなります。

無線LANのオン：「無線LANをオンにします」の音声がかかります。

無線LANのオフ：「無線LANをオフにします」の音声がかかります。



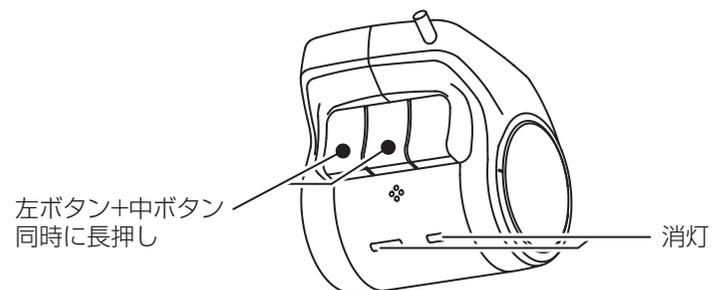
録画の停止

常時録画中に左ボタンと中ボタンを同時に長押しすると、録画を停止することができます。(LEDは消灯します)

録画を停止すると次回エンジン始動時(電源オン)まで動作しません。

※ 録画を停止するとすべての録画を行いません。(常時録画、手動録画、衝撃検知録画)

※ 次回エンジン始動時(電源オン)には自動的に録画を再開します。

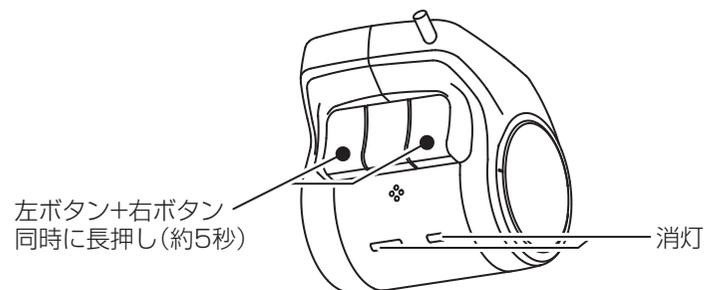


設定の初期化

常時録画中、左ボタンと右ボタンを同時に長押しすると本機の各種設定を初期化します。

初期化される内容はアプリによる設定、無線LAN接続時のSSID・パスワードです。(アプリ ⇒P.36、SSID・パスワード ⇒P.35)

※ microSDHCカード(MLCタイプ)のデータは初期化されません。



初期化後「常時録画を開始します」の音声案内が流れ、録画を再開します。

microSDHC カード (MLC タイプ) のフォーマット

- microSDHCカード(MLCタイプ)は定期的にデータを読み出し、書き込みが正常かどうか確認して下さい。安心してお使いいただくため、1ヶ月に2回程度はmicroSDHCカード(MLCタイプ)のフォーマットを行ってください。
- microSDHCカード(MLCタイプ)は長期間連続で使用すると不良セクタ(情報を書き込みできなくなる箇所)が発生します。この状態で使用を続けると書き込みが不安定になり、microSDHCカード(MLCタイプ)や本体のエラーが発生する可能性があります。microSDHC(MLCタイプ)カードをフォーマットすることで不良セクタの修復が行えます。
 - ※ フォーマット時にはすべてのデータが削除されます。大切なデータは必ずPCなどにバックアップを作成してください。

■ フォーマット時期案内

本機での累積録画時間が一定時間を超え、フォーマットを行っていない場合、フォーマット時期を音声でお知らせします。

16GB：約 28時間
32GB：約 56時間
64GB：約 112時間

(例) 16GB使用時
1日の使用時間が2時間の場合、約2週間の録画でフォーマットの案内をお知らせします。

■ 交換時期案内

本機での累積録画時間が一定時間を超えたmicroSDHCカード(MLCタイプ)の交換時期を音声でお知らせします。

※ microSDHC/SDXCカード(MLCタイプ)は消耗品です。

16GB：約 25,000時間
32GB：約 50,000時間
64GB：約 100,000時間

microSDHC カード (MLC タイプ) のフォーマット

⚠ フォーマットは本機で行ってください

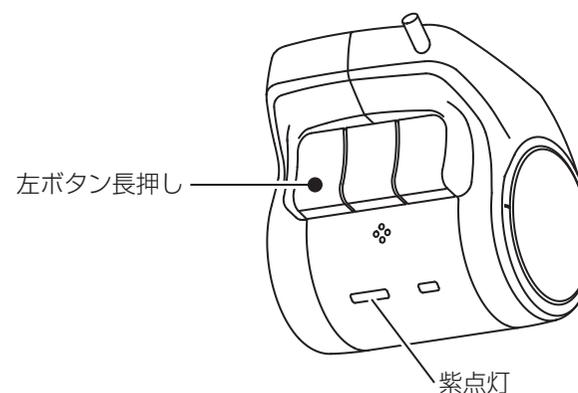
- ※ 本機以外でフォーマットを行うと正常に動作、録画ができなくなる場合があります。
- ※ 本機以外でフォーマットを行うとフォーマット案内、交換案内の情報が消えてしまうため実際の使用期間とずれが発生します。また、お知らせができない場合があります。
- ※ 他の機器で使用したmicroSDHCカード(MLCタイプ)を使用する場合は本機でフォーマットを行ってください。

■ フォーマット手順

本体の電源がONの状態、左ボタンを約5秒間押し続けると“microSDカードをフォーマットします”という音声案内が流れ、フォーマットを開始します。

※ 音声案内が流れるとフォーマットを中止することができません。操作には充分ご注意ください。

※ フォーマットが完了するまでmicroSDHCカード(MLCタイプ)を抜いたり、電源をオフにしないでください。microSDHCカード(MLCタイプ)が故障する恐れがあります。

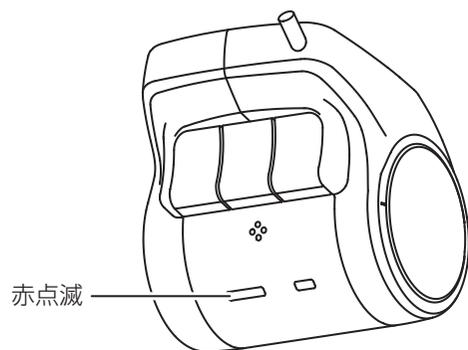


本体ソフトウェアのアップデート方法

本体ソフトウェアの更新時には、ホームページ上でお知らせいたします。

■ アップデートする

1. ドライブレコーダーアップデートサイト
(<http://www.keiyoeng.co.jp/MBJ/>)へPCからアクセスします。
2. 本体ソフトウェアアップデートを確認し、ファイルをPCにダウンロードします。
3. ダウンロードしたアップデートファイルをmicroSDHCカード
(MLCタイプ)の最上階層にコピーします。
4. microSDHCカード(MLCタイプ)を本体に挿入し、電源を入れます。
5. LEDが赤色に点滅し、「アップデートを開始します」の音声の流れアップデートを開始します。



6. アップデートが完了すると「アップデートが終了しました」
の音声案内が流れます。
LEDが消灯し、ドライブレコーダーが再起動します。

! アップデート中は絶対に電源を切らないでください

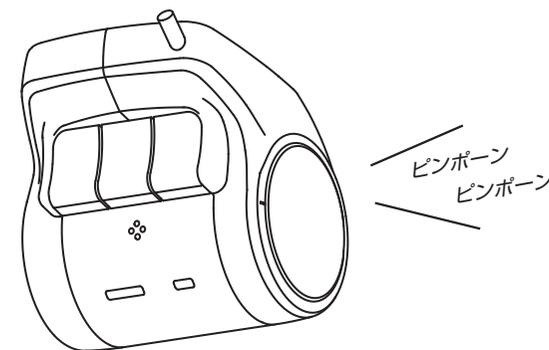
アップデート中に電源を切るとソフトウェアが破壊され、起動できなくなる可能性があります。

異常時動作

本体の異常や録画ファイルの異常時など正常に録画ができていないとき、アラームを鳴らしお知らせします。

アラームが鳴った場合はメルセデス・ベンツ正規販売店までご連絡ください。

※ ボリュームがオフに設定されているとアラームは鳴りません。
(⇒P.37)



アプリ

アプリをインストールすることでスマートフォンと無線LAN接続できます。録画中の映像確認やファイル管理、各種設定が行えます。

● アプリ名：無線LAN Camera Viewer

対応OS

iOS：11以上

Android：6.0以上

※ 対応したすべてのスマートフォンの動作を保証するものではありません。

OSのバージョンや機種により動作しない場合があります。

また、お手持ちのスマートフォンの使用状況や環境によって正常に動作しない場合があります。

■ アプリをインストールする

iOS用は「App Store」、Android用は「Google Play」より【無線LAN Camera Viewer】を検索し、インストールします。

アプリは無料でインストールできます。

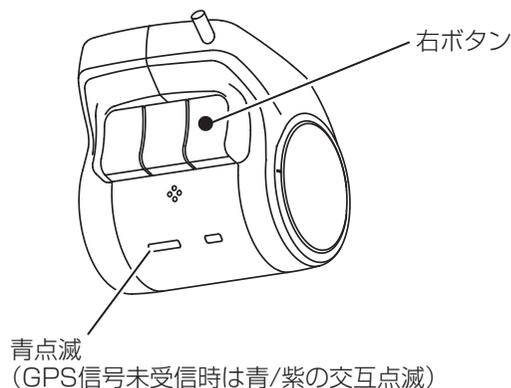
※データ通信料は発生します。



無線 LAN Camera Viewer
アプリアイコン

■ 本機とスマートフォンを接続する

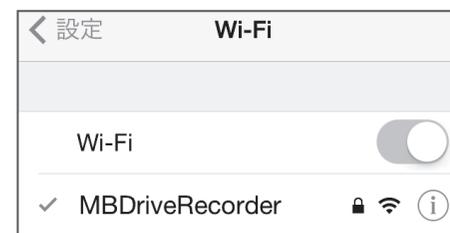
1. 常時録画中に右ボタンを短押しし、無線LAN機能をオンにします。



アプリ

■ 本機とスマートフォンを接続する

2. 接続するスマートフォンのWi-Fi機能をオンにします。
※ Wi-Fi機能の操作は、お手持ちのスマートフォンの取扱説明書をお読みください。
3. 接続するリストに「MBDriveRecorder」が表示されますので、選択してパスワードを入力します。
※ Android機器によっては「インターネット接続がありません」と表示されることがありますが、接続は完了しています。



- 初期設定
SSID(名称)：MBDriveRecorder
パスワード：12345678

4. アプリを起動します。
本機と接続されると、アプリ画面の無線LAN設定に「MBDriveRecorder」と表示されます。



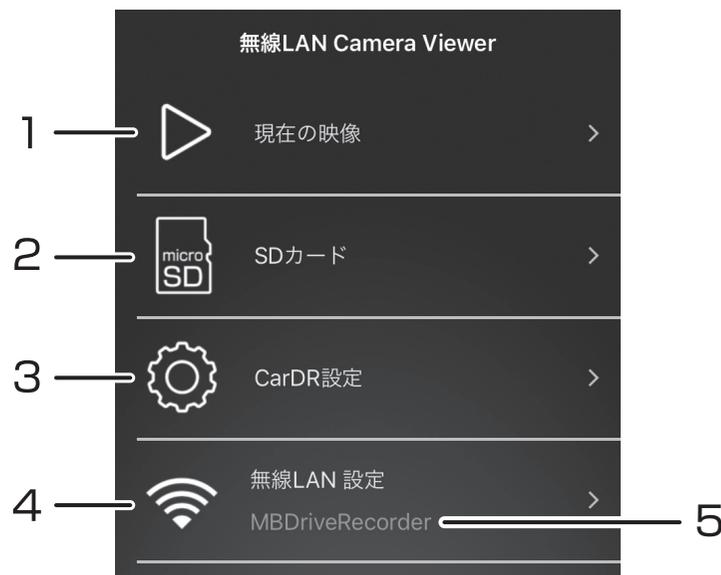
アプリ画面



アプリ

■ 操作画面の構成

※ お使いのスマートフォンやアプリのバージョンによって表示が異なる場合があります。



1. 現在の映像

現在録画されている映像が確認できます。

※ 映像送信時にデータを圧縮するためスマートフォン上の映像にはタイムラグが発生し、画質は低下します。録画ファイルには影響はありません。

2. SDカード

本機で録画された録画ファイルの確認、管理が行えます。
(⇒P.38)

3. CarDR設定

本機の設定画面を表示します。(⇒P.36)

4. 無線LAN設定

本機のSSID・パスワードの確認と変更が行えます。(⇒P.35)

5. 接続先

現在接続されている無線LAN機器のSSIDが表示されます。

アプリ

■ 無線LAN設定画面

「無線LAN設定」→「SSID・パスワード設定」とタップします。
本機のSSID・パスワードが確認できます。

現在のSSID・パスワード



● SSID・パスワードの変更方法

⚠ SSID・パスワード変更時の注意

変更されたパスワードは必ずメモ等を取り、確認できるようにしてください。

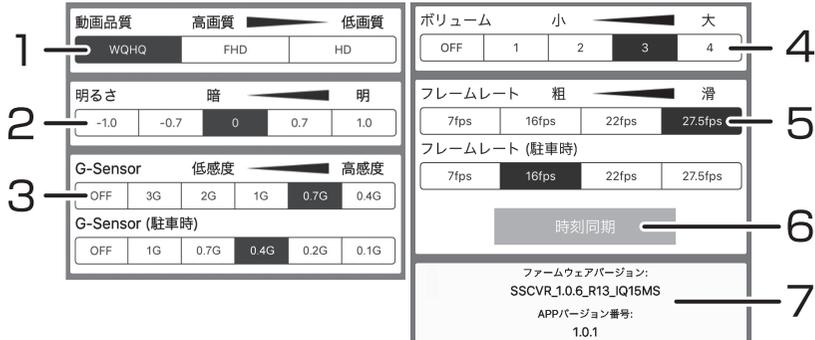
SSID・パスワードの変更後は本機に接続できなくなります。
スマートフォンのWi-Fi接続先から本機の設定を一度削除して、新しいSSID・パスワードで再度接続してください。

1. 変更するSSID、またはパスワードを選び英数字を入力します。
2. 画面下部の「送信」、「リセット」を順にタップします。
※ 必ず「送信」、「リセット」の順にタップしてください。
3. 本機へ変更内容が適用され、接続できなくなります。スマートフォンのWi-Fi設定を一度削除して、新しいSSID・パスワードで再度接続してください。
※ SSID・パスワードを忘れてしまった場合、設定を初期化してください。(⇒P.27)
初期化される内容はアプリの設定と、SSID・パスワードです。

アプリ

■ 設定画面

本機の設定を変更します。
設定項目は本体(フロントカメラ)側です。リアカメラの設定は変更できません。
※ 設定画面の表示中は録画を行いません。
※ G-Sensor、フレームレートの駐車時設定は機能しません。



1. 動画品質(初期設定: WQHD)

録画時の解像度を選択します。

- WQHD : 2560×1440
- FHD : 1920×1080
- HD : 1280×720

※ リアカメラの解像度はHD(1280×720)です。

2. 明るさ(初期設定: 0)

録画時の明るさを設定します。

-1が暗く、1が明るくなります。

※ リアカメラの明るさは変更できません。

アプリ

3. Gセンサー(初期設定: 0.7G)

Gセンサーの感度を設定します。

OFF : 衝撃検知録画を行わない

3G : 低感度

0.1G : 高感度

※ 感度を高く設定すると、強めのブレーキ操作などの衝撃でもGセンサーが感知する場合があります。

※ リアカメラはGセンサーを搭載していません。衝撃検知録画のタイミングは本体(フロントカメラ)に連動します。

4. ボリューム(初期設定: 3)

音声案内、操作音、ブザー音の音量を設定します。

OFF : すべての音が出なくなります。

1 : 音量 小

4 : 音量 大

※ リアカメラにスピーカーは搭載していません。

5. フレームレート(初期設定: 27.5fps)

映像の滑らかさ(1秒あたりのフレーム数)を設定します。

7fps : カクカク

27.5fps : 滑らか

※ リアカメラのフレームレートは30fpsです。

6. 時刻同期

スマートフォンの時刻を本機へ反映します。

7. バージョン

本機のファームウェアバージョン、アプリのバージョンを表示します。

アプリ

■ SDカード画面

本機で録画したファイルの再生や、ファイルをスマートフォンへ保存することができます。

※ SDカード画面の表示中は録画を行いません。



1. ファイルリスト

録画されたファイルが表示されます。

ファイルを選ぶと再生、保存、削除が行えます。(⇒P.39、P.40)

2. ソート(並べ替え)

表示されているファイルを日付け順にソート(並べ替え)します。押す度に昇順・降順が切り替わります。

3. 編集

複数のファイルをまとめて保存、削除できます。

4. フォルダ選択

リストに表示するフォルダを選択します。

アプリ

● 再生

スマートフォンに保存されているドライブレコーダーの映像ファイルを再生します。

ファイルリストから再生するファイルを選び「再生」を選択します。

※ スマートフォンに保存されていないファイルを選択した場合は、保存完了後に再生されます。

走行位置表示

映像ファイルに位置情報が記録されている場合、走行位置が表示できます。

地図情報をインターネットから取得する必要があるため、ファイルの保存完了後スマートフォンとドライブレコーダーの無線LAN接続を切断してください。

ドライブレコーダーと接続している状態ではインターネットへ接続できず地図情報が取得できません。

※ 地図情報の取得には、その都度データ通信料が発生します。

※ 位置情報が記録されていない映像ファイルや、地図情報を取得できない場合は走行位置は表示されません。

再生画面



アプリ

● 保存

ファイルリストからファイルを選び「保存」を選択します。
進行状況を表すバーが100%になるとスマートフォンへ保存が完了します。

ファイルの保存先はOSにより異なります。

保存先

- iOS：写真フォルダ内
- Android：内部ストレージ / Wi-Fi_camera_Viewer フォルダ内

● 削除

ファイルリストからファイルを選び「削除」を選択します。

MEMO

専用ビューワーでの動画の再生

■専用ビューワー

専用ビューワーではmicroSDHCカード(MLCタイプ)に保存された映像の確認と走行した位置の確認ができます。

本機で録画した映像は一般の動画再生プレイヤーでも再生できますが走行した位置情報は表示されません。走行した位置を確認するには専用ビューワーが必要です。

本製品に同梱のCD-ROMから専用ビューワーをインストールします。

※ 走行した位置を確認するにはインターネットの接続環境が必要です。
接続していない時は地図が表示されません。

動作必要条件

- 対応OS
Windows 7/8/8.1/10 (32bit/64bit)
- CPU
Intel Core i3以上 (推奨 Core i5以上)
- メモリー
4GB以上
- HDD空き容量
1GB以上
- ディスプレイ
WXGA 1280×768以上 (推奨 WXGA+ 1440×900以上)
- サウンド
Windowsで動作可能な再生機能
- その他
インターネット接続環境
microSDHCカード(MLCタイプ)を接続できるメモリーカードリーダー、ライター

※ 条件を満たしたすべてのパソコンについて、動作を保証するものではありません。

※ お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。

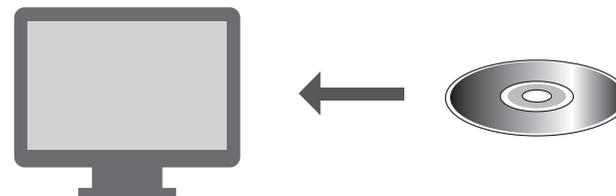
専用ビューワーでの動画の再生

■専用ビューワーをインストールする

同梱されているCD-ROMをパソコンのドライブにセットします。

自動的にセットアップウィザードが表示されます。

(⇒P.44 3. セットアップウィザード)



自動的にセットアップ画面が表示されない場合

1. コンピューターからディスクドライブを開きます。



専用ビューワーでの動画の再生

■専用ビューワーをインストールする

2. 「setup.exe」をダブルクリックします。



← 専用ビューワー
インストーラー

「WindowsによってPCが保護されました」の表示が出る場合はメッセージ内の「詳細情報」をクリックし、実行を選択してください。ユーザーアカウント制御のダイアログが表示された場合は「はい」をクリックしてください。

3. セットアップウィザードが表示されますので、内容を確認し「次へ」をクリックします。以降は画面の指示に従い、インストールを進めます。



専用ビューワーでの動画の再生

4. インストールが終わると、デスクトップに「DVPlayer4」のショートカットアイコンが登録されます。



専用ビューワー
アイコン

専用ビューワーでの動画の再生

■ 操作画面の構成



1. 再生画面

ファイルを再生すると映像が表示されます。
画面上でスクロール操作を行うと拡大できます。ダブルクリックで画面のフルスクリーン(全画面表示)/操作画面を切り替えます。

2. カメラ切り替え

再生画面に表示するカメラ映像を切り替えます。
Front : 本体(フロント)カメラ、Rear : リアカメラ、All : 同時表示
※ リア映像の録画には別売りのリアカメラが必要です。接続していない場合、映像は表示されません。

3. ファイル

プレイリストに表示するファイルを選択します。(⇒P.48)

4. インフォメーション

専用ビューワーのバージョン情報を表示します。

5. 再生位置

ファイルの再生箇所を表示します。

6. Gセンサーグラフ表示の切り替え

Gセンサーグラフの表示/非表示を切り替えます。

専用ビューワーでの動画の再生

7. 速度表示

GPS信号から算出した速度を表示します。
ダブルクリックでキロメートル毎時/マイル毎時を切り替えます。
※ 実際の速度とは異なることがあります。

8. Gセンサーグラフ

Gセンサーが記録したデータを表示します。

9. 画面の保存

ビューワーに表示されている映像を画像として保存します。(⇒P.50)

10. フルスクリーン(全画面表示)

ビューワーに表示されている映像をフルスクリーン(全画面表示)にします。
操作画面に戻るには画面をダブルクリックします。

11. 前のファイルへ

プレイリストで選択されている前のファイルを再生します。

12. 再生速度を遅く

クリックする度に再生速度が遅くなります。

13. 再生/一時停止

プレイリストで選択されているファイルを再生します。

14. 再生速度を速く

クリックする度に再生速度が速くなります。

15. 次のファイルへ

プレイリストで選択されている次のファイルを再生します。

16. 音量

スピーカーアイコンをクリックするとミュート(消音)します。
バーをクリックしたまま左右操作で再生音量を調整します。

17. 走行位置表示

インターネットの地図上に走行位置を表示します。
※ インターネットの接続環境が必要です。接続していない時は表示されません。
※ GPS衛星からの信号の受信状況によって、実際に走行した位置と地図上の位置にズレが生じたり、正しく表示されない場合があります。
※ 位置情報が記録されていないファイルを再生した場合は表示されません。GPS信号受信についての注意事項はP.10をご確認ください。

18. プレイリスト

読み込んだファイルが表示されます。
再生したいファイルを選択します。各項目をクリックするとファイルをソート(並べ替え)できます。

専用ビューワーでの動画の再生

■ 動画の再生

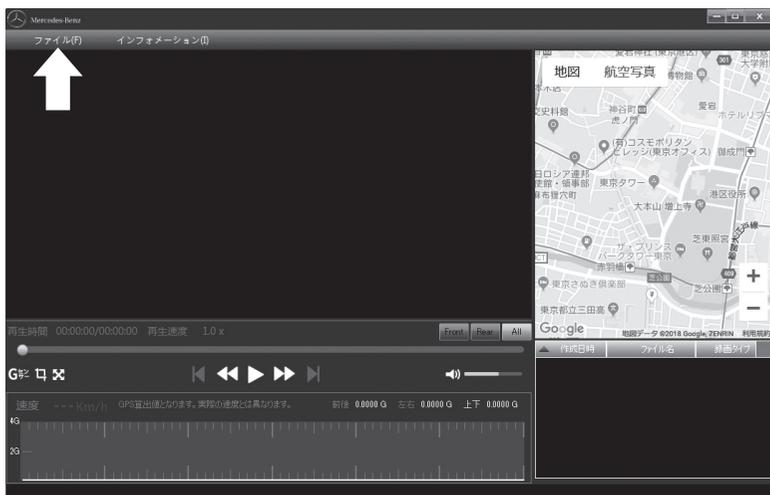
本機で録画した映像を専用ビューワーを使い再生します。

1. ドライブレコーダー本体から抜いたmicroSDHCカード(MLCタイプ)を、付属のSDカードアダプターやカードリーダーなどを使用してパソコンに挿入します。
2. デスクトップの「DVPlayer4」のショートカットアイコンをダブルクリックします。



専用ビューワー
アイコン

3. 専用ビューワーが起動します。



専用ビューワーでの動画の再生

4. 左上の「ファイル(F)」をクリックします。
ダイアログが表示されますので、読み込むメディアを選択します。



デフォルトでは「ディスク」が選択されています。
右のプルダウンからmicroSDHCカード(MLCタイプ)のドライブを選択して「OK」をクリックします。



※ ドライブのアルファベットは
ご使用のパソコン環境により異なります。

microSDHCカード
(MLCタイプ)の
ドライブを選択

5. microSDHCカード(MLCタイプ)内のファイルが読み込まれます。
ビューワーのプレイリスト内にファイルが表示されますので、再生したいファイルを選択し、再生「▶」をクリックします。

● ファイル、またはフォルダを指定して読み込む場合

「ファイル(F)」をクリックして表示されるダイアログ内で、「ファイル」または「フォルダ」を選択し、右側の「…」をクリックします。

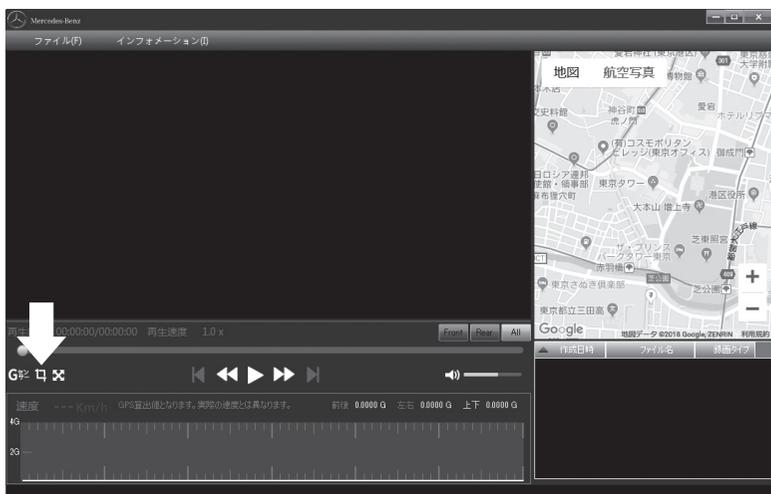
microSDHCカード(MLCタイプ)やパソコン内から、読み込むファイル、またはフォルダを指定し「OK」をクリックします。

専用ビューワーでの動画の再生

■ 画面の保存

ビューワーに表示されている映像を画像として保存します。

1. 再生中、または一時停止中にアイコンをクリックするとダイアログが表示されます。



2. 保存先を決め、ファイル名を入力します。
ファイルの種類を選択し、保存をクリックします。



専用ビューワーでの動画の再生

■ バージョンの確認

インフォメーション(I)をクリックするとバージョン情報を表示します。

■ アップデートする

専用ビューワーの更新時には、ホームページ上でお知らせいたします。

1. ドライブレコーダーアップデートサイト
(<http://www.keiyoeng.co.jp/MBJ/>)へPCからアクセスします。
2. ビューワーアップデートを確認し、ファイルをパソコンにダウンロードします。
3. ダウンロードしたインストーラー (setup.exeファイル) を開き、手順に従ってインストールします。
4. インストールが終わると、デスクトップに「DVPlayer4」のショートカットアイコンが登録されます。

その他のサポート情報

■ サービスパーツについて

サービスパーツについてのご質問、ご確認はお近くのメルセデス・ベンツ正規販売店にお問い合わせください。

故障かな?と思ったら

■ 本体

症状	原因 / 対処方法
車両のACCをオンにしても起動しない	本機に電源が供給されていない可能性があります。 メルセデス・ベンツ正規販売店までご連絡ください。
録画できない	<ul style="list-style-type: none"> ・microSDHCカード(MLCタイプ)を挿入してください。 ・本機が対応していないmicroSDHCカード(MLCタイプ)を使用している可能性があります。対応品を必ず使用してください。(⇒P.7、P.56) ・64GBのmicroSDXCカード(MLCタイプ)専用品は、ご使用前に本機でフォーマットをする必要があります。(⇒P.29) ・必要なデータをPCなどにバックアップしてから、microSDHCカード(MLCタイプ)をフォーマットしてください。(⇒P.29) フォーマットをしても録画ができない場合はmicroSDHCカード(MLCタイプ)を交換してください。 ・本機が高温になると保護機能が働き、録画が停止することがあります。 その場合は車内の温度を下げてください。
録画ファイルが見つからない	<ul style="list-style-type: none"> ・録画容量がいっぱいになると古いファイルを上書きして録画します。大切なファイルは上書きされないようバックアップを作成してください。 ・常時録画中に手動録画や衝撃検知録画を行った場合は「Manual」、「EMER」フォルダへ保存されます。「Manual」、「EMER」フォルダを確認してください。(⇒P.19、P.24)
映像が鮮明でない	<ul style="list-style-type: none"> ・柔らかい布などでレンズを乾拭きしてください。 ・動画品質(解像度)を変更してください。(⇒P.36)
頻繁に衝撃検知録画が行われる	Gセンサーの感度を調整してください。(⇒P.37) 感度を高く設定すると強めのブレーキ操作などの衝撃でもGセンサーが感知する場合があります。

故障かな?と思ったら

■ 本体(つづき)

症状	原因 / 対処方法
音声案内や音が鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> ・音声案内をオンにしてください。(⇒P.25) ・ボリュームを調整してください。(⇒P.37) ボリュームがOFFの場合、すべての音声、音が鳴りません。
本体が熱い microSDHCカード(MLCタイプ)が熱い	<ul style="list-style-type: none"> ・動作中は本体が熱くなりますが故障ではありません。 ・microSDHCカード(MLCタイプ)は、取り出してすぐは熱いことがあります。ご注意ください。
ステータスLEDが赤点滅している	<ul style="list-style-type: none"> ・microSDHCカード(MLCタイプ)が正しく挿入されているか、方向を確認してください。(⇒P.17) ・microSDHCカード(MLCタイプ)エラーの可能性があります。 必要なデータをPCなどにバックアップしてから、microSDHCカード(MLCタイプ)をフォーマットしてください。(⇒P.29) フォーマットをしても録画ができない場合はmicroSDHCカード(MLCタイプ)を交換してください。 ・本体エラーの可能性があります。 一旦ACCをオフ(エンジン停止)し、すべてのLEDが消灯してから再度ACCをオン(エンジン始動)してください。ステータスLEDの赤点滅が消えない場合はメルセデス・ベンツ正規販売店までご連絡ください。
「microSDカードをフォーマットしてください」と音声案内があった	microSDHCカード(MLCタイプ)のフォーマット時期をお知らせします。 録画エラーが発生する前にフォーマットを行ってください。(⇒P.28)
「microSDカードを交換してください」と音声案内があった	microSDHCカード(MLCタイプ)の寿命が近くなると交換時期をお知らせします。 録画エラーが発生する前にmicroSDHCカード(MLCタイプ)を交換してください。(⇒P.28)
「ピンポーン・ピンポーン」と鳴っている	本体異常や録画ファイルの異常により、正常に録画ができない状態です。 メルセデス・ベンツ正規販売店までご連絡ください。

故障かな?と思ったら

■ アプリ

症状	原因 / 対処方法
SSIDが見つからない 接続できない 接続が切れる	<ul style="list-style-type: none"> ・本機の無線LAN機能をオンにしてください。(⇒P.26) ・正しいパスワードを入力してください。パスワードを忘れた場合は設定を初期化してください。(⇒P.27) ・スマートフォンとの距離が離れている場合は、本機の近くで接続してください。 ・電波干渉の影響を受けている可能性があります。スマートフォンや車両のBluetooth機能をオフにしてください。ほかの機器から影響を受けない場所で無線LAN機能を使用してください。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンがマナーモードになっていないか確認してください。 ・スマートフォンの再生音量を上げてください。 ・音声録音をオンにしてください。(⇒P.25) 設定を変更しても音が出ない場合は、本機のマイク部が覆われていないかご確認ください。
走行位置が表示されない、実際とずれている 地図が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ・GPS衛星からの信号を受信できない場所では位置情報は記録されません。(⇒P.10) ・位置情報が記録されていないファイルは走行位置が表示されません。 ・GPS衛星の状態や信号の受信状況によっては走行位置がずれたり、表示されない場合があります。 ・スマートフォンが本機と無線LAN接続されていると地図情報が取得できません。本機との接続を切断してください。 ・microSDHCカード(MLCタイプ)内の「.MISC」フォルダーの名前やフォルダー内のファイルを変更、削除した場合は走行位置が表示できない場合があります。変更、削除しないでください。

故障かな?と思ったら

■ 専用ビューワー

症状	原因 / 対処方法
専用ビューワーが起動しない	<ul style="list-style-type: none"> ・ご使用のパソコンが専用ビューワーの動作必要条件を満たしているかご確認ください。(⇒P.42) ・一度専用ビューワーをアンインストールして、再度インストールしなおしてください。
映像が再生できない スムーズに再生されない	<ul style="list-style-type: none"> ・ご使用のパソコンが専用ビューワーの動作必要条件を満たしているかご確認ください。(⇒P.42) 動作必要条件を満たしていないパソコンや、他のアプリケーションが起動していると映像や音声途切れて再生されることがあります。 ・専用ビューワーのほかにアプリケーションが起動している場合は、ほかのアプリケーションを閉じてください。
走行位置が表示されない、実際とずれている 速度が表示されない、実際の速度とずれている	<ul style="list-style-type: none"> ・GPS衛星から信号を受信できない場所では位置情報は記録されません。(⇒P.10) ・位置情報が記録されていないファイルは走行位置が表示されません。 ・GPS衛星の状態や信号の受信状況によっては走行位置がずれたり、表示されない場合があります。また、速度表示はGPS衛星の信号から算出しているため速度がずれたり、表示されない場合があります。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンの再生音量を上げてください。 ・専用ビューワーの再生音量を上げてください。(⇒P.47) ・音声録音をオンにしてください。(⇒P.25) 設定を変更しても音が出ない場合は、本機のマイク部が覆われていないかご確認ください。

製品仕様

M 000 829 40 10 MM 16GB / 32GB / 64GB
 M 222 829 40 10 MM 16GB / 32GB / 64GB

	M 000 829 40 10 MM	M 222 829 40 10 MM
カメラ	センサー	CMOS 約408万画素
	画角	145° (水平) 77° (垂直) 165° (対角)
録画サイズ	WQHD : 2560×1440 / FHD : 1920×1080 / HD : 1280×720	
録画ファイル	常時録画 / 手動録画 / 衝撃検知録画	
フレームレート	7 / 16 / 22 / 27.5fps	
録画時間	1ファイル : 約1分	
音声録音	オン / オフ切り替え可能	
GPS	有 (内蔵)	有 (外付け)
G センサー	有 (オフ / 5段階)	
無線 LAN	有 (IEEE 802.11b/g/n、使用周波数帯 : 2.4GHz)	
メモリーカード	microSDHCカード (MLCタイプ) : 16 ~ 32GB microSDXCカード (MLCタイプ) : 64GB (専用品) (スピードクラス CLASS10、UHS-I 対応)	
電源	DC 12V 約240mA / リアカメラ接続時 約340mA 最大 約630mA	
サイズ	約53mm (W) × 43 (H) × 56 (D) (レンズ可動最大値)	
重量	約70g	約63g
録画ファイル形式	MP4 (H.264)	
動作温度範囲	-20℃ ~ 70℃	

製品仕様

- ※ 重量はmicroSDHCカード (MLCタイプ) を含みません。
- ※ すべてのmicroSDHCカード (MLCタイプ) の動作を保証するものではありません。
また、microSDカード、64GBを超えるmicroSDXCカードはご使用になれません。

リアカメラ (別売品 2019年度発売予定)
 M 000 829 40 20 MM

カメラ	センサー	CMOS 約122万画素
	画角	82° (水平) 50° (垂直) 96° (対角)
録画サイズ	HD : 1280×720	
フレームレート	30fps	
電源	DC 5V (本体より供給)	
サイズ	約64mm (W) × 30 (H) × 26 (D)	
重量	約44g	
動作温度範囲	-10℃ ~ 65℃	

- ※ 重量はサブブラケットを含みません。
- ※ リアカメラ単体では使用できません。
M 000 829 40 10 MM 16GB/32GB/64GB、または
M 222 829 40 10 MM 16GB/32GB/64GBと接続して使用します。

MEMO

MEMO